第46回日本水環境学会年会優秀発表賞(クリタ賞)を受賞して

徳島大学大学院総合科学教育部地域科学専攻 駕 田 啓一郎

この度は日本水環境学会優秀発表賞(クリタ賞)という大変名誉ある賞をいただけたことを非常にうれしく思います。(公益財団)クリタ水・環境科学振興財団の皆様、学会関係者の皆様および審査いただいた委員の皆様に厚くお礼申しあげます。

私が研究対象とした医薬品類・日用品に由来する微量化学物質(PPCPs: Pharmaceuticals and Personal Care Products)および陰イオン界面活性剤である直鎖アルキルベンゼンスルホン酸(LAS: Linear Alkylbenzene Sulphonate)は、ともに日常生活で使用され、一部は生態系への悪影響が懸念されており、これまでに水環境中での動態や水生生物に対する毒性について数多くの研究報告があります。しかし、これらの化学物質の水生生物に対する複合影響を評価した例はほとんどなく、またLASの界面活性剤としての作用によって膜の流動性が上昇し、PPCPsの膜透過性が変化することで様々な複合影響が検出されるのではないかと考え、実験的検討を行いました。

その結果、 $0.3 \,\mathrm{mg}\cdot\mathrm{L}^{-1}$ の C_{12} -LAS の共存により PPCPs の用量応答反応曲線に影響を及ぼすことが示されました。たとえば、降圧剤である propranolol を対象として実施した試験では C_{12} -LAS を添加した試験区では未添加の試験区と比べて有意な心拍数の低下が確認されました。

当日のポスター発表では多くの方々に質問、コメント等をいただき、口頭発表ではなかなかすることのできない活発な議論ができたことは、貴重な体験でした。一方で、ポスター・口頭発表ともに練習や周辺領域に関する勉強を重ねて発表に挑みましたが、来ていただいた方々に十分な返答ができず、知識や説明方法に多くの不備があり、今後はより一層精進していきたいと感じました。さまざまな議論の中で多くを学び、そして、これまで研究室で取り組んできた研究がこのような立派な賞で評価していただけたことは我々にとって大きな励みとなりました。そして、ポスターの前で足を止めていただいた方々からのご意見は、非常に参考になりました。ご質問、ご助言いただいた方々に心よりお礼申しあげます。

最後になりましたが、本研究を進めるにあたり、終始 手厚いご指導をいただきました徳島大学大学院ソシオ・ アーツ・アンド・サイエンス研究部准教授の山本裕史先 生、京都大学大学院工学研究科助教の中田典秀先生、貴 重な助言をいただいた国立環境研究所環境リスク研究センター主任研究員の鑪迫典久先生、そしていつも研究を 共にし、私を支えてくださいました徳島大学大学院総合 科学教育部博士後期課程の田村生弥さんをはじめとした 研究室の皆様、ならびにここまで育ててくれた両親をは じめとした家族に対して心より感謝申しあげます。